

プレスリリース・顧客全体周知 用途



各項目	目指すべき状態	推奨事項
配信グループ数	顧客の業種、所在地、媒体などに合わせてグループを分けており、相手の特徴に合わせてレイアウトを変える等の配慮が来ています。	海外への周知には多言語配信を利用
メール認証	受信側サーバで“なりすまし”の判定を受けないように必要な対策をDNSサーバで設定しており、安心してメール配信が行える環境です。また、STARTTLS対応に、よりセキュアなメール配信が行えています。	<ul style="list-style-type: none">・SPFの設定・DKIM(作成者署名)の設定・STARTTLSの実装
配信回数	本当に伝えたい情報をピンポイントで且つ計画的に周知を行い、受信者が日を追うごとに温度感を高くさせることが出来ています。	任意
開封数(HTML)	プレスリリースや周知は確実に届いている、開封したかが重要であり、開封率をHTML、クリック率をURLで確認できるよう上手く使えています。	送ったメールの数に対し、60%以上の開封率
データベース項目数	顧客の様々な情報をメールアドレスに紐づけて保持できるのを利用し、相手先の繁忙期や不在時間帯も確認し、配信時間を調整しています。	任意

※ 黄色の項目は重要課題と想定される項目です。